

沙羅双樹（ナツツバキ）が咲き始めました

「沙羅双樹の花の色 盛者必衰の理をあらわす」と平家物語の冒頭にも登場する沙羅双樹。釈迦はこの木の下で入滅したといわれます。

日本ではナツツバキが沙羅双樹と呼ばれました。朝に咲いた花が夜には落ちてしまう姿が世のはかなさを感じさせたのでしょうか。

学習のむらの敷地内の沙羅双樹（ナツツバキ）が今年も咲き始めました。

今年もつぼみがたくさんついており、6月いっぱいは見ごろが続く見込みです。

この機会にぜひご覧ください。

